

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第70回 ビジネス文書実務検定試験 (5.7.2)

第1級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- フォントの種類は明朝体とすること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。ただし、網掛けした漢字は同じ読みで間違って使われているため、正しい漢字に訂正すること。なお、網掛けする必要はない。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第70回 ビジネス文書実務検定試験 (5.7.2)

第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

近年、少子化の影響によって廃校となる学校が増えている。国の調査によると、廃校数は全国の公立学校で、毎年約450校にも上る。再利用する予定がなく、学校として使用されなくなった施設を残しておく、管理に必要なコストが余計にかかってしまう。そのため、自治体は企業や住民と連携しながら、新たな施設として活用する動きが広がりをみせている。	30 60 90 120 150 166
ある企業は、廃校となった中学校を活用し、海外の電気自動車を分解して、その構成部品を展示する施設をオープンした。体育館といくつかの教室を使って種類ごとに展示することで、比較しやすくしている。試乗車も容易しており、広い敷地で走行させることもできる。他にも、金属加工の工場として使用する企業が現れた。この加工には温度や湿度の管理が重要なため、教室のように区切られた間取りが適しているという。	196 226 256 286 316 346 360
また、刊行施設として活用する例もある。ある自治体では、住民によってNPO法人が設立され、宿泊施設を運営している。そこでは、バーベキューや石窯を使ったピザ作り体験、ホテルの観察などができる。地域住民のサークル活動の拠点としても使われるようになり、新たな交流の場も生まれた。このような環境で子育てをしたいと考え、移住してくる若い家族も増えているようだ。	390 420 450 480 510 536
自治体が財政の負担を減らすためには、廃校施設を有効に活用していくことが重要である。国はプロジェクトを立ち上げ、事業者や活用方法を募るため、施設の情報発信している。廃校施設を活用することにより、新たな雇用が送出されて、地域経済の発展につながった自治体もある。たくさんの思い出のある学校が、その役割を変えながら、これからも残っていくことを願いたい。	566 596 626 656 686 710